

環境マネジメントシステムの取り組み状況

環境目標はおおむね達成

市では、環境保全、環境汚染の予防に配慮した活動を積極的に進めていくため、環境マネジメントシステム（EMS）を運用しています。

平成26年度は、再生可能エネルギー導入事業やペットボトルキャップリサイクル事業の実施など、43項目の環境目標に取り組み、41項目で達成することができました。（左表は主な実施状況）

1. 自然と調和した潤いのある街づくりの推進

環境目標	達成状況
環境保全と環境美化を進める活動を実施する	春季及び秋季一斉クリーンアップ、カラス被害対策、不法投棄物パトロールなどを実施した
環境保全の施策を充実するため、大気や水質等を測定する	空間放射線量の把握、河川水水質調査、自動車騒音常時監視や酸性雪調査を実施した
公民館で実施する主要な講座や教室の中で環境問題に関する学習を取り入れる	自然散策会(長木公民館) 花いっぱい運動(花岡公民館) 米代川川下り(田代公民館)
大館市子どもサミットを開催し環境活動項目を決定する	大館市子どもサミットを開催。ペットボトルキャップの回収事業を行い、リサイクル原料で作られたプランターを岩手県釜石市へ寄贈した
自主的・積極的に環境保全活動に取り組むための学習の機会を提供する	出前講座を8回実施した。また、クリーンセンターや粗大ごみ処理場の見学を受け入れた
環境配慮活動の実施	エコアクションポイント、満点台紙 4,290枚
合併処理浄化槽の設置整備補助基数を49基とする	補助基数49基
公有林の除間伐を80.15ha実施する	除間伐実施面積 70.92ha ※
公共下水道の普及率を49.6%にする	公共下水道の普及率 49.8%

※測定の結果、当初計画より実面積が減少したため未達成でした。

2. 省資源、省エネ、リサイクルの推進

環境目標	達成状況
電力の使用量を550,000kWh以下とする	使用量 432,999kWh (目標値に対し117,001kWh削減)
ごみ分別、減量を徹底し、26年度のリサイクル率を18.06%とする	リサイクル率 16.34% ※
溶融スラグ製品化等委託事業の実施	製品化量 735m ³
ペットボトルキャップリサイクル運動の拡大	回収量 6,129kg
こでん回収の実施	回収量 10,290kg
廃食用油回収事業の実施	回収量 77,926L
再生可能エネルギーの導入	西館小学校、東中学校に太陽光発電設備を設置した
年間で生ごみ、鶏糞、粉殻を合わせて1,920tを堆肥化する(コンポストセンター処理量の把握)	堆肥化量 1,624t
年間で鶏糞、粉殻を合わせて1,020tを堆肥化する(比内地鶏糞処理施設処理量の把握)	堆肥化量 1,077t
選挙用ポスター掲示板を全てリサイクルする	選挙用ポスター掲示板は全て再生紙ボードを使用し、使用後はリサイクルした

※リサイクルする資源物の総量が大幅に減少したため未達成でした。

大館市EMSネットが「内部監査員養成研修会」を開催

大館市EMSネット（ISO14001を取得した市内の企業や行政で構成する組織）では、4月30日と5月1日の2日間、内部監査員養成合同研修会を開催しました。研修会には、エコシステム秋田、エコリサイクル、大館市役所から14人が参加しました。



環境マネジメントシステムとは



環境保全に関する取り組みを進めるために、環境に関する方針や目標などを自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを「環境マネジメント」と言います。また、このための工場や事業場内の体制や手続きなどの仕組みのことを「環境マネジメントシステム（EMS）」と言い、この国際規格が「I

SO14001」です。大館市は、平成12年からISO14001の認証を受けていますが、これを維持していくためには、第三者の審査登録機関による審査を受ける必要があります。

環境マネジメントは、事業活動を環境に優しいものに変えていくために効果的な手法で、幅広い組織や事業者が積極的に取り組んでいくことが期待されます。

お問い合わせ
環境課環境企画係
☎ 43-7049